



リリースノート Cloud Volumes ONTAP

NetApp
June 01, 2022

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/cloud-manager-cloud-volumes-ontap/aws/whats-new.html> on June 01, 2022. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

リリースノート	1
新機能	1
既知の制限	10
Cloud Volumes ONTAP リリースノート	11

リリースノート

新機能

Cloud Manager の Cloud Volumes ONTAP 管理の新機能について説明します。

このページで説明する機能拡張は、Cloud Volumes ONTAP の管理を可能にする Cloud Manager の機能に固有のものです。Cloud Volumes ONTAP ソフトウェア自体の新機能については、["Cloud Volumes ONTAP のリリースノートに移動します"](#)

2022年5月2日

コネクタの3.9.18リリースでは、次の変更が加えられました。

Cloud Volumes ONTAP 9.11.0

Cloud ManagerでCloud Volumes ONTAP 9.11.0の導入と管理が可能になりました。

["このリリースのに含まれる新機能について説明します Cloud Volumes ONTAP"](#)。

メディアエーターのアップグレードに関する機能拡張

Cloud ManagerによってHAペアのメディアエーターがアップグレードされると、ブートディスクを削除する前に新しいメディアエーターイメージが使用可能であるかどうかを検証されるようになりました。この変更により、アップグレードプロセスが失敗した場合でもメディアエーターは正常に動作し続けることができます。

K8sタブが削除されました

K8sタブは以前では廃止されており、現在は削除されています。KubernetesとCloud Volumes ONTAP を併用する場合は、高度なデータ管理のための作業環境として、管理対象- Kubernetesクラスタをキャンバスに追加できます。

["Cloud ManagerでのKubernetesのデータ管理について説明します"](#)

S3 Glacierのインスタント検索

Amazon S3 Glacier Instant Retrievalストレージクラスに階層化データを格納できるようになりました。

["階層化データのストレージクラスを変更する方法について説明します"](#)。

コネクタに新しい**AWS**権限が必要です

単一のAvailability Zone (AZ；アベイラビリティゾーン) にHAペアを導入する際にAWS分散配置グループを作成するためには、次の権限が必要です。

```
"ec2:DescribePlacementGroups",  
"iam:GetRolePolicy",
```

これらの権限は、Cloud Managerによる配置グループの作成方法を最適化するために必要になります。

Cloud Managerに追加したAWSクレデンシャルの各セットに、これらの権限を必ず付与してください。最新の権限のリストは、[で確認できます "Cloud Manager のポリシーのページです"](#)。

2022 年 4 月 3 日

System Manager のリンクが削除されました

Cloud Volumes ONTAP 作業環境内から以前に利用可能だった System Manager のリンクを削除しました。

Cloud Volumes ONTAP システムに接続している Web ブラウザにクラスタ管理 IP アドレスを入力しても、System Manager に接続できます。"[System Manager への接続に関する詳細情報](#)"。

WORM ストレージの充電

導入時の特別料金が期限切れになり、WORM ストレージの使用料が請求されます。WORM ボリュームのプロビジョニング済みの合計容量に基づいて、1 時間ごとに課金されます。この環境 の新規および既存の Cloud Volumes ONTAP システムです。

"[WORM ストレージの価格設定については、こちらをご覧ください](#)"。

2022 年 2 月 27 日

コネクタの3.9.16リリースでは、次の変更が加えられました。

ボリュームウィザードの再設計

特定のアグリゲートに * Advanced allocation * オプションからボリュームを作成するときに、新しいボリューム作成ウィザードを使用できるようになりました。

"[特定のアグリゲートにボリュームを作成する方法について説明します](#)"。

2022 年 2 月 9 日

市場の最新情報

- EssentialsパッケージとProfessionalパッケージは、すべてのクラウドプロバイダマーケットプレイスで利用できるようになりました。

容量単位の課金方法では、時間単位での支払いや、年間契約の購入をクラウドプロバイダから直接行うことができます。容量単位のライセンスは、ネットアップから直接購入することもできます。

クラウドマーケットプレイスで既存のサブスクリプションがある場合は、それらの新しいサービスにも自動的にサブスクライブされます。新しい Cloud Volumes ONTAP 作業環境の導入時に、容量単位の課金を選択できます。

新規のお客様の場合、Cloud Manager は新しい作業環境の作成時に登録を求めるプロンプトを表示します。

- すべてのクラウドプロバイダマーケットプレイスからのノード単位のライセンスが廃止され、新しいユーザには提供されなくなりました。これには、年間契約と時間単位のサブスクリプション（Explore、

Standard、Premium)が含まれます。

この充電方法は、有効なサブスクリプションをお持ちの既存のお客様には引き続きご利用いただけます。

["Cloud Volumes ONTAP のライセンスオプションの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

2022 年 2 月 6 日

未割り当ての Exchange ライセンス

Cloud Volumes ONTAP 用の未割り当てのノードベースライセンスがあり、使用していない場合は、そのライセンスを Cloud Backup ライセンス、Cloud Data Sense ライセンス、Cloud Tiering ライセンスに変換してライセンスを交換できるようになりました。

この操作により、Cloud Volumes ONTAP ライセンスが取り消され、同じ有効期限のサービスに対してドル相当のライセンスが作成されます。

["未割り当てのノードベースライセンスを交換する方法について説明します"](#)。

2022 年 1 月 30 日

コネクタの3.9.15リリースでは、次の変更が加えられました。

ライセンスの選択を再設計

新しい Cloud Volumes ONTAP 作業環境を作成する際に、ライセンス選択画面を再設計しました。この変更は、2021 年 7 月に導入された容量別課金方法と、クラウドプロバイダマーケットプレイスを通じて提供される予定のサービスを反映しています。

デジタルウォレットの更新

Cloud Volumes ONTAP ライセンスを 1 つのタブに統合し、* デジタルウォレット * を更新しました。

ネットアップアカウントあたり 20 システム

Cloud Volumes ONTAP システムの最大数は、使用しているライセンスモデルに関係なく、ネットアップアカウントあたり 20 に制限されます。

a_system_には、HA ペアまたはシングルノードシステムを指定します。たとえば、2 つの Cloud Volumes ONTAP HA ペアと 2 つのシングルノードシステムがある場合、合計 4 つのシステムがあり、アカウントに 16 のシステムを追加で配置できます。

ご質問がある場合は、アカウント担当者または営業チームにお問い合わせください。

["ネットアップアカウントの詳細については、こちらをご覧ください"](#)

2022 年 1 月 2 日

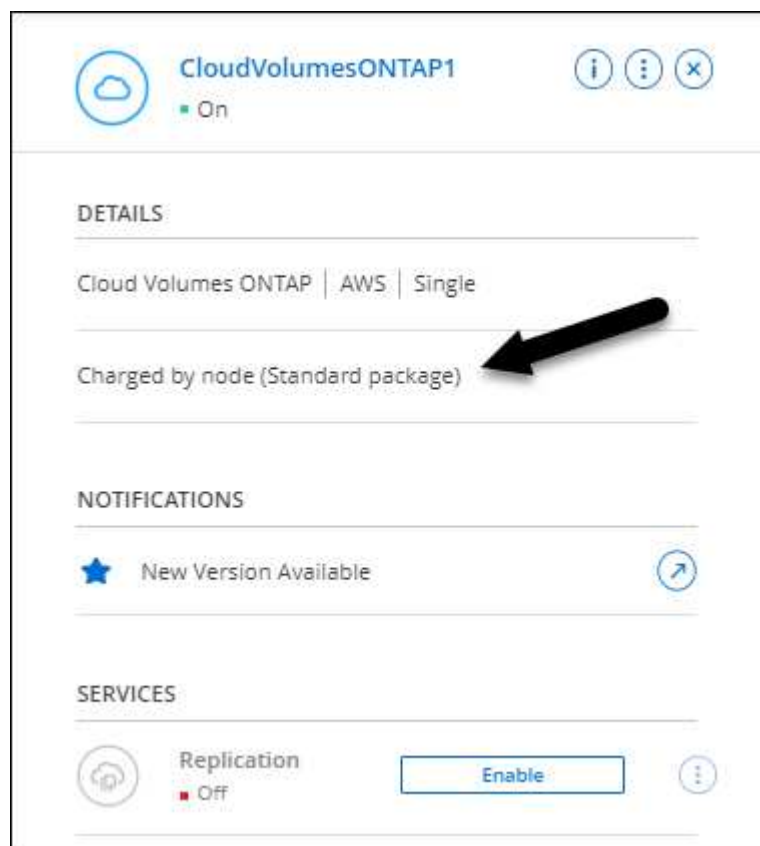
コネクタの3.9.14リリースでは、次の変更が加えられました。

FlexClone による課金の更新

を使用する場合 **"容量単位のライセンスです"** Cloud Volumes ONTAP については、FlexClone ボリュームで使われる容量の追加料金は発生しません。

充電方法が表示されます

Cloud Volumes ONTAP ワーク環境ごとの充電方法がキャンパスの右側のパネルに表示されるようになりました。



ユーザ名を選択します

Cloud Volumes ONTAP 作業環境を作成する際に、デフォルトの admin ユーザ名ではなく、優先ユーザ名を入力できるようになりました。

Credentials

User Name

customusername

Password

.....

Confirm Password

.....

ボリューム作成の機能拡張

ボリューム作成機能がいくつか強化されました。

- 使いやすいようにボリューム作成ウィザードの設計が変更されました。
- ボリュームに追加するタグがアプリケーションテンプレートサービスに関連付けられ、リソースの管理を整理して簡単にすることができます。
- これで、NFS 用のカスタムエクスポートポリシーを選択できるようになりました。

✓ Details, Protection & Tags

2 Protocol

3 Disk Type

4 Usage Profile & Tiering Policy

5 Review

Volumes Protocol

Select the volume's protocol: ☒ NFS Protocol ☐ CIFS Protocol ☐ iSCSI Protocol

Access Control

Custom export policy

Export Policy (1 rule defined)

[Manage volume's export policy](#)

2021 年 11 月 28 日

コネクタの3.9.13リリースでは、次の変更が加えられました。

Cloud Volumes ONTAP 9.10.1

Cloud Manager で Cloud Volumes ONTAP 9.10.1 の導入と管理が可能になりました。

["このリリースのに含まれる新機能について説明します Cloud Volumes ONTAP"](#)。

Keystone Flex サブスクリプション

Keystone Flex Subscriptions を使用して、Cloud Volumes ONTAP HA ペアの料金を支払うことができるようになりました。

Keystone Flex サブスクリプションは、成長に合わせて購入できるサブスクリプションベースのサービスです。OPEX 消費モデルを希望するお客様に、設備投資やリースを先に行うお客様にシームレスなハイブリッドクラウドエクスペリエンスを提供します。

Keystone Flex サブスクリプションは、Cloud Manager から導入可能なすべての新しいバージョンの Cloud Volumes ONTAP でサポートされます。

- ["Keystone Flex Subscriptions の詳細をご覧ください"](#)。
- ["Cloud Manager の Keystone Flex Subscriptions を活用する方法をご紹介します"](#)。

AWS リージョンが新たにサポートされるようになります

Cloud Volumes ONTAP は、AWS アジア太平洋（大阪）リージョン（AP-F北東 -3）でサポートされるようになりました。

2021 年 10 月 4 日

コネクタの3.9.11リリースでは、次の変更が加えられました。

Cloud Volumes ONTAP 9.10.0

Cloud Manager で Cloud Volumes ONTAP 9.10.0 の導入と管理が可能になりました。

["このリリースのに含まれる新機能について説明します Cloud Volumes ONTAP"](#)。

2021 年 7 月 7 日

3.9.8リリースのコネクタには、次の変更が加えられています。

新しい充電方法

Cloud Volumes ONTAP では、新しい充電方法を利用できます。


- *** 容量ベースの BYOL ***：容量ベースのライセンスでは、TiB あたりの Cloud Volumes ONTAP 料金を支払うことができます。このライセンスはネットアップアカウントに関連付けられており、ライセンスで十分な容量が確保されていれば、複数の Cloud Volumes ONTAP システムを作成できるようになっています。容量ベースのライセンスは、*Essentials_or_Professional* のいずれかのパッケージ形式で提供されます。
- *** Freemium offering ***：Freemium により、ネットアップのすべての Cloud Volumes ONTAP 機能を無償で使用できます（クラウドプロバイダの料金は引き続き適用されます）。システムあたりのプロビジョニング可能な容量は 500 GiB に制限されており、サポート契約はありません。最大 10 個の Freemium システムを使用できます。


["これらのライセンスオプションの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

以下に、充電方法の例を示します。

Cloud Volumes ONTAP Charging Methods

[Learn more about our charging methods](#)

☐ Pay-As-You-Go by the hour


☒ Bring your own license

Bring your own license type

Capacity-Based

Package

Professional

☐ Freemium (Up to 500GB)

一般的に使用できる **WORM** ストレージ

Write Once、Read Many (WORM) ストレージはプレビューではなくなり、Cloud Volumes ONTAP で一般的に使用できるようになりました。"[WORM ストレージの詳細については、こちらをご覧ください。](#)"。

AWS で **m5dn.24xlarge** をサポートしています

9.9.1 リリース以降、Cloud Volumes ONTAP では m5dn.24xlarge インスタンスタイプがサポートされるようになりました。課金方式は PAYGO Premium、Bring Your Own License (BYOL; お客様所有のライセンスを使用)、Freemium です。

"[AWS で Cloud Volumes ONTAP のサポートされている構成を表示します](#)"。

2021年5月30日

コネクタの3.9.7リリースでは、次の変更が加えられました。

AWS での新しいプロフェッショナルパッケージ

新しいプロフェッショナルパッケージでは、AWS Marketplace で毎年契約を締結し、Cloud Volumes ONTAP と Cloud Backup Service をバンドルできます。支払いは TiB あたりです。このサブスクリプションでは、オンプレミスのデータをバックアップすることはできません。

この支払いオプションを選択すると、EBS ディスクを介して Cloud Volumes ONTAP システムあたり最大 2PiB をプロビジョニングし、S3 オブジェクトストレージ（シングルノードまたは HA）に階層化することができます。

にアクセスします ["AWS Marketplace のページ"](#) 価格の詳細を表示するには、を参照してください ["Cloud Volumes ONTAP リリースノート"](#) このライセンスオプションの詳細については、を参照してください。

AWS の EBS ボリュームでタグを使用します

新しい Cloud Volumes ONTAP 作業環境の作成時に、Cloud Manager によって EBS ボリュームにタグが追加されるようになりました。タグは、Cloud Volumes ONTAP の導入後に作成されたものです。

この変更は、サービス制御ポリシー（SCP）を使用して権限を管理する場合に役立ちます。

auto 階層化ポリシーの最小クーリング期間

auto 階層化ポリシーを使用してボリュームのデータ階層化を有効にした場合、API を使用して最小クーリング期間を調整できるようになりました。

["最小クーリング期間の調整方法について説明します。"](#)

カスタムエクスポートポリシーの機能拡張

新しい NFS ボリュームを作成すると、カスタムのエクスポートポリシーが昇順に表示されるようになり、必要なエクスポートポリシーが簡単に見つかります。

古いクラウド Snapshot の削除

Cloud Volumes ONTAP システムの導入時および電源をオフにするたびに作成されたルートディスクとブートディスクの古いクラウド Snapshot が Cloud Manager で削除されるようになりました。ルートボリュームとブートボリュームの両方に対して最新の 2 つの Snapshot のみが保持されます。

この機能拡張により、不要になった Snapshot を削除することでクラウドプロバイダのコストを削減できます。

2021 年 5 月 24 日

Cloud Volumes ONTAP 9.9.1

Cloud Volumes ONTAP 9.9.9..1. を導入および管理できるようになりました。

["このリリースのに含まれる新機能について説明します Cloud Volumes ONTAP"](#)。

2021 年 4 月 11 日

コネクタの 3.9.5 リリースでは、次の変更が加えられました。

論理スペースのレポート

Cloud Manager で、Cloud Volumes ONTAP 用に作成した最初の Storage VM の論理スペースのレポートを有効にするようになりました。

スペースが論理的に報告されると、ONTAP は、Storage Efficiency 機能で削減されたすべての物理スペースが使用済みと報告するようにボリュームスペースを報告します。

AWS で GP3 ディスクがサポートされます

Cloud Volumes ONTAP では、9.7 リリース以降、_General Purpose SSD (GP3) _disks がサポートされるようになりました。GP3 ディスクは、幅広いワークロードのコストとパフォーマンスのバランスが取れた、最も低コストの SSD です。

["Cloud Volumes ONTAP で GP3 ディスクを使用する方法については、こちらをご覧ください"](#)。

コールド HDD ディスクは **AWS** ではサポートされなくなりました

Cloud Volumes ONTAP はコールド HDD (sc1) ディスクをサポートしなくなりました。

2021 年 3 月 8 日

コネクタの3.9.4リリースでは、次の変更が加えられました。

Cloud Volumes ONTAP 9.9.

Cloud Volumes ONTAP 9.9.9.0 を導入および管理できるようになりました。

["このリリースのに含まれる新機能について説明します Cloud Volumes ONTAP"](#)。

AWS C2S 環境をサポートします

クラウドサービス 9.8 を AWS Commercial Cloud Volumes ONTAP (C2S) 環境に導入できるようになりました。

["C2S の使用を開始する方法をご確認ください"](#)。

AWS 暗号化でユーザが管理する CMK を使用

Cloud Manager では、AWS Key Management Service (KMS) を使用して Cloud Volumes ONTAP データを暗号化できるようになりました。Cloud Volumes ONTAP 9.9.9.0 以降では、お客様が管理する CMK を選択すると、EBS ディスク上のデータと S3 に階層化されたデータが暗号化されます。これまでは、EBS データだけが暗号化されていました。

Cloud Volumes ONTAP IAM ロールに CMK を使用するためのアクセス権を付与する必要があります。

["Cloud で AWS KMS を設定する方法については、こちらをご覧ください Volume ONTAP の略"](#)。

2021年1月4日

コネクタの3.9.2リリースでは、次の変更が加えられています。

AWS がアウトポスト

数カ月前に、Cloud Volumes ONTAP が Amazon Web Services (AWS) の提供開始を宣言したことを発表しました。本日は、AWS のアウトポストで Cloud Manager と Cloud Volumes ONTAP を検証しました。

AWS Outpost を使用している場合は、Working Environment ウィザードで Outpost VPC を選択して、その Outpost に Cloud Volumes ONTAP を導入できます。エクスペリエンスは、AWS に存在する他の VPC と同じです。最初に、AWS Outpost にコネクタを導入する必要があります。

指摘すべき制限事項はいくつかあります。

- でサポートされるのはシングルノードの Cloud Volumes ONTAP システムのみです 今回は
- Cloud Volumes で使用できる EC2 インスタンス ONTAP は、Outpost で利用できる機能に限定されています
- 現時点では、汎用 SSD（gp2）のみがサポートされます

既知の制限

既知の制限事項は、このリリースの製品でサポートされていないプラットフォーム、デバイス、機能、または製品と正しく相互運用できない機能を特定します。これらの制限事項を慎重に確認してください

これらの制限は、Cloud Manager での Cloud Volumes ONTAP の管理に固有のものです。Cloud Volumes ONTAP ソフトウェア自体の制限を確認するには、次の手順を実行します。"[Cloud Volumes ONTAP のリリースノートに移動します](#)"

Cloud Manager は FlexGroup ボリュームをサポートしていません

Cloud Volumes ONTAP では FlexGroup ボリュームがサポートされますが、Cloud Manager ではサポートされません。System Manager または CLI から FlexGroup ボリュームを作成する場合は、Cloud Manager の容量管理モードを手動に設定する必要があります。FlexGroup ボリュームで自動モードが適切に機能しない可能性があります。

Cloud Manager は、Cloud Volumes ONTAP では S3 をサポートしていません

一部のクラウドプロバイダでは、Cloud Volumes ONTAP が S3 をスケールアウトストレージのオプションとしてサポートしていますが、Cloud Manager はこの機能の管理機能を提供していません。CLI を使用することが、Cloud Volumes ONTAP からの S3 クライアントアクセスを設定するためのベストプラクティスです。詳細については、を参照してください "[S3 構成パワーガイド](#)"。

"[S3 およびその他のクライアントプロトコルに対する Cloud Volumes ONTAP のサポートに関する詳細を確認できます](#)"。

Cloud Manager では、Storage VM のディザスタリカバリはサポートされていません

Cloud Manager では、Storage VM ディザスタリカバリのセットアップやオーケストレーションはサポートされていません。System Manager または CLI を使用する必要があります。

- "[SVM ディザスタリカバリ設定エクспレスガイド](#)"
- "[『SVM ディザスタリカバリエクспレスガイド』](#)"

Cloud Volumes ONTAP リリースノート

Cloud Volumes ONTAP のリリースノートには、リリース固有の情報が記載されています。リリースの新機能、サポートされる構成、ストレージの制限、および製品の機能に影響する可能性がある既知の制限事項や問題。

["Cloud Volumes ONTAP のリリースノートに移動します"](#)

著作権情報

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 米国で印刷されていますこのドキュメントは著作権によって保護されています。画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体などの機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。テープ媒体、または電子検索システムへの保管-著作権所有者の書面による事前承諾なし。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、いかなる場合でも、間接的、偶発的、特別、懲罰的、またはまたは結果的損害（代替品または代替サービスの調達、使用の損失、データ、利益、またはこれらに限定されないものを含みますが、これらに限定されません。）ただし、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失やその他を含む）のいずれであっても、かかる損害の可能性について知らされていた場合でも、責任の理論に基づいて発生します。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、またはその他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1 つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許により特許、その他の国の特許、および出願中の特許。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7103（1988 年 10 月）および FAR 52-227-19（1987 年 6 月）の Rights in Technical Data and Computer Software（技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利）条項の（c）（1）（ii）項、に規定された制限が適用されます。

商標情報

NetApp、NetAppのロゴ、に記載されているマーク <http://www.netapp.com/TM> は、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。